

此國ニ産スルトコロハカハラエンジュナリ又山中自生ニカマズミアリ、莢蓬ナリ、秋月實ヲ結テ、南天燭ノ實ヨリ大ニ觀ツベキモノナリ、山家ノ小兒、熟スルヲ待テ採食フ、

〔愚管抄三〕仲哀のきさきには、神功皇后をぞま給ける、この皇后は、略中應神天皇をばらみ給ひて、仲哀の御をしへによりて、仲哀うせ給て後、まばしなむまれ給そとて、女の御身にて、男のすがたをつくりて、新羅高麗百濟のみつの國をうちとり給て後、つくしにかへりて、うみの宮の槐にとりすがりて、應神天皇をばらみ奉り給ける、

〔孝經樓漫筆四〕槐安産の藥

子母秘録に槐枝東方にさしたる枝をとり、産婦の手に握らしむれば、産し易し、日華子に槐實五七粒を吞ば産下す、催の良藥なり、

合歡木

〔新撰字鏡木〕合歡木福夫利

〔本草和名十三〕合歡又有萱草一名鹿葱出陶景注合歡一名合昏出蘇敬注一名戎出稽疑一名茸樹一名械已上拾遺一名莠藎一名百合一名獨忿已上出兼名苑和名福布利乃岐

〔倭名類聚抄二十〕合歡木 唐韻云、楫音昏和名福布里乃合歡木、其葉朝舒暮斂者也、

〔箋注倭名類聚抄十〕廣韻云、楫合楫木名、朝舒夕斂、按合歡見本草經、及嵇康養生論、初學記引爾雅、郭注守宮槐葉晝聶宵炕云、江東有樹與此相反、俗因名爲合昏、證類本草注云、名曰合歡、或曰合昏、則此作合歡、廣韻作合楫、並通、此木下恐脫名字、此有其葉二字者、似勝、

〔伊呂波字類抄福〕植物附植物具、合歡木ネフリ 睡樹 合楫已上同、上音合、下音昏 合歡 萱草 鹿昏出陶景註

合昏出蘇敬註

〔萬葉集八〕春相問、紀女郎贈大伴宿禰家持歌二首略中
晝者咲、夜者戀、宿合歡木、花君耳將見哉、和氣佐倍爾見代、